

岐阜県立羽島北高等学校

学 校 長 石田 達也
学校所在地 岐阜市柳津町北塚3-110 電話 058-388-3611

1 会議の名称 岐阜県立羽島北高等学校評議員会 (第2回)

2 会議の構成 学校評議員

市野 和之 (株)トヨタオートモールクリエイト取締役
大北 有花 P T A会長
杉山 英子 柳津佐波女性の会
三輪 浩子 羽島北高等学校同窓会
吉村 光弘 柳津町まちづくり協議会事務局長

(五十音順)

学校側

石田 達也 校長
西村 美穂 教頭
竹花 容子 事務長
庄司 幸宏 教務主任
村上 宏俊 生徒指導部長
郡 美穂 特別活動部長
竹尾 真希 研究推進部長

3 会議の目的 学校運営について地域住民や有識者等から幅広く要望や意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
(岐阜県立羽島北高等学校学校評議員設置要綱第1条)

4 会議の開催 令和2年2月6日(木) 13:00~15:00 会議室

5 会議の概要 (1) 校長挨拶
(2) 参加者紹介
(3) 今年度の地域課題探究型学習(HKTマイプロジェクト)の報告
(4) 今年度の地域ボランティア活動(HKTゆいまーるプロジェクト)の報告
(5) 授業参観(1年次「総合学習」)
(6) 協議
(7) 校長お礼

(1)羽島北高校「ふるさと教育」について

学校：羽島北高校では、今年度、将来地域を支え地域に貢献できる人材の育成をねらいとして、「ふるさと教育」を展開してきた。今年度の取組に対するご意見をいただきたい。また、次年度、この取組をさらに発展させるために、どのようなことを考えていけばよいか。

○「ふるさと教育」の地域課題探究型学習（HK Tマイプロジェクト）について

意見1 世の中に出てから役に立つ内容である。リーダーの資質を養っているといえる。

意見2 クエストエジュケーションのフェスティバルやSDGsの大会など、コンテストへの応募により、生徒に達成感を持ってもらうことが次の取組へのモチベーションを高めることになる。

意見3 取組のコンセプト等について外部の人に理解してもらえることが極めて重要である。学校のホームページやプレスリリースなどを活用して、情報発信していくとよい。

意見4 生徒が訪問する先（企業、施設など）側からプレスリリースしてもらうとよい。取材してもらうことも生徒のモチベーションにつながる。

意見5 保護者によくご理解いただき、活動のサポートが得られるとよい。

意見6 同窓会のサポートも有効だと考えられる。

○「ふるさと教育」の地域ボランティア（HK Tゆいまーるプロジェクト）について

意見1：人材の強みを活かしていく取組である。学校という組織の活性化にもつながる。

意見2：地域の取組についてこれまでは高校の協力という意識が薄かったが、高校生の参加により大きな効果があった。

意見3：地域の高齢者には若い世代との交流機会が少なく、よい機会であった。今、ボランティアに参加する人の高齢化が問題になっている。若い人たちが参加し、継続してやっていけるようになってほしい。

意見4：奉仕活動が、学校主導になると生涯ボランティアにつながらない。学校全体で奉仕作業を行う場合は選択肢を設けて自分の意思でできるようにするとよい。

意見5：活動の中で自主性が育ち、人生を通じてボランティア活動に関われる人材が育つとよい。

意見6：高校生ボランティアアワードなどに参加して他校と交流を図ると意識付けができる。

(2) 羽島北高校の教育活動全般について

学校：「令和元年度羽島北高等学校生徒及び保護者等を対象とするアンケート結果」および「令和元年度自己評価」の資料等をもとに、羽島北高校の教育活動全般についてご意見を頂きたい。

意見1：ぜひ先生方の働き方改革を進めてほしい。

意見2：先生方の努力に頭が下がる思いである。探究活動は今は手探り状態だが、動き出すとよい取組になる。自分も協力したいと考えている。何でもバックアップする。

意見3：子どもと親の意識の違いがアンケート結果から読み取れる。今後PTAとして協力できることを考えて取り組んでいきたい。

意見4：地域への発信ツールとしてのホームページを保護者が見ていないと考えられる。今後発信方法を研究するとよい。

意見5：生徒の活動を保護者がSNSなどを使って発信するのはどうか。学校は規制が多く保護者の方が発信しやすいのではないか。

(3) 羽島北高校の「生徒心得」について

学校：羽島北高校の「生徒心得」についてご意見を頂きたい。

意見1：制服の規定について、中日新聞に他の県立高校で女子生徒にズボンを認めたという記事があった。羽島北高校にも柔軟な対応を求めたい。

6 会議のまとめ

第2回となる今回は、まず、羽島北高校の「ふるさと教育」について、今年度の取組と今後の展開についてご意見をいただいた。

今年度の取組については、高く評価をしていただき、地域人材育成につながる取組であると自信を持つことができた。

今後の展開として指摘されたポイントは、保護者や外部の人の理解を得ることが重要であるからホームページなどを更に活用して情報発信をしていくこと、生徒のモチベーションを高めるための手立てを講じること、生涯ボランティアに関わることができるような資質を育てるよう留意すること等である。

その他教育活動全般に対しては、生徒心得や教員の働き方改革の推進についてのご意見があった。

評議員の皆さまの言葉には本校を支援する強い思いを感じることができた。

今回、ご指摘ご助言いただいたことをもとに、取組内容を精査しつつ一層充実した教育活動を展開していきたい。